

一宮市立市民病院臨床工学室に通院中または過去に通院された患者  
さんまたはご家族の方へ

臨床工学室における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、Impella 挿入中の患者の腹臥位療法時における出血性合併症に関する後ろ向き研究に関する臨床研究を実施しております。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	<u>Impella 挿入中の患者の腹臥位療法時における出血性合併症に関する後ろ向き研究</u>
所属（診療科）	臨床工学室
研究責任者（職名）	水野 千香子
研究実施期間	2018年12月から2024年12月
研究の意義・目的	ICU管理が必要な患者の多くは、中枢の大血管に対し径の太いカテーテルが挿入され、腹臥位療法の弊害になりえる。大腿動脈から挿入されたImpellaの刺入部における出血性合併症について後方視的に検討する。
対象となる患者さん	Impellaによる補助循環中に、腹臥位療法を施行した症例
利用するカルテ情報	出血性合併症の有無とそれに伴う処置の有無について
研究方法	診療データを元にした後ろ向き観察研究
問い合わせ先	窓口：一宮市立市民病院 臨床工学室 電話番号：0586-71-1911

既存の臨床記録（カルテ記録）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除研究します。

研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。